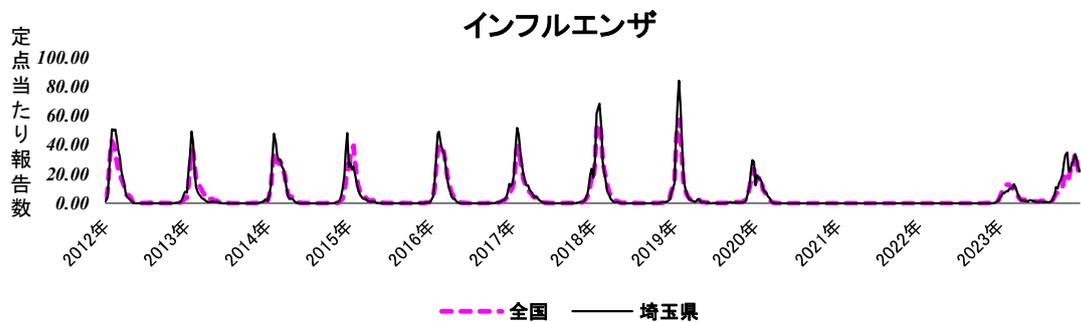


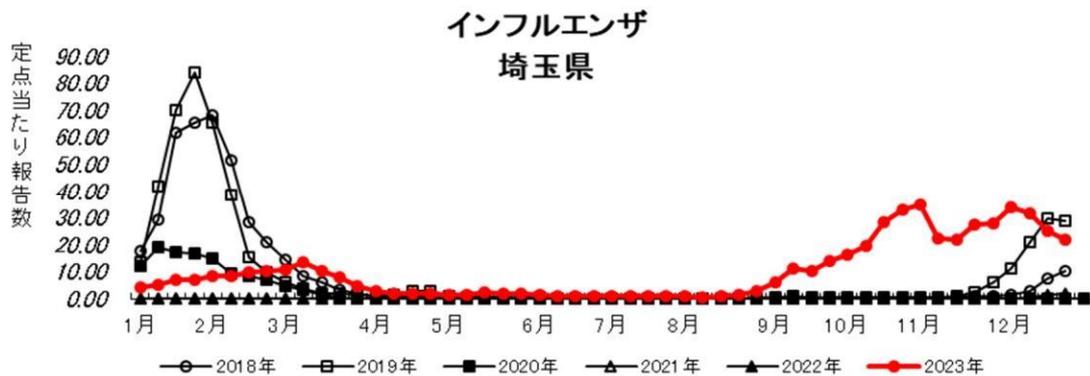
2 内科及び小児科定点（インフルエンザ/COVID-19 定点）把握対象疾患の動向

1) インフルエンザ

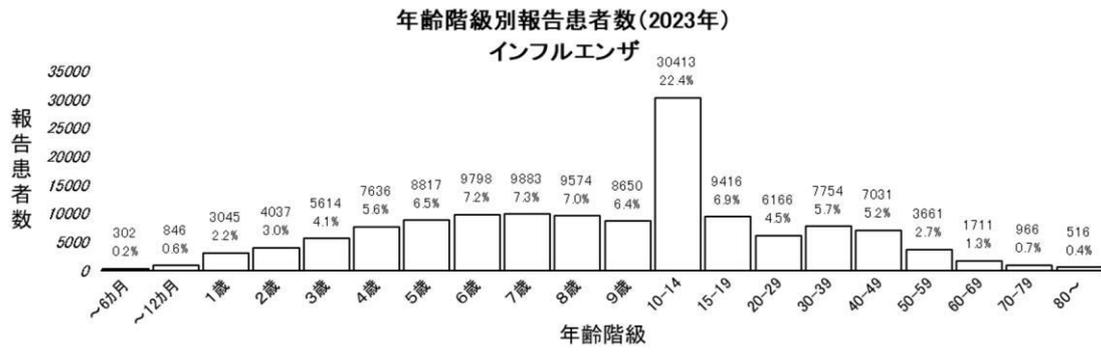
2023年の第1週～52週の累積報告患者数は135,836人であった。定点当たり報告患者総数528.54は前年と比べ著しく増加し、過去10年で最も多かった。2022年-2023年シーズンの流行は、前年12月から始まり、2023年第10週(3/6-12)に定点当たり報告数13.29のピークを形成した後、5月から8月にかけて例年よりやや多い状況が続いた。第32週(8/7-13)に定点当たり報告数の最低値0.64を観察したものの、第34週(8/21-27)には再び増加し始め、定点当たり報告数は1.00以上となった。2023年-2024年シーズンは、第37週(9/11-9/17)以降、報告患者の多い状態が続き、第44週(10/30-11/5)及び第49週(12/4-10)に2度のピークを形成した。2023年の定点当たり報告数の最大値は、第44週の34.84であった。年齢階級別では、20歳未満が全体の79.5%、10歳未満は全体の50.2%であった。



図Ⅱ-1-1 定点当たり報告患者数の年推移（全国比較：インフルエンザ）



図Ⅱ-1-2 定点当たり報告患者数の推移（埼玉県：インフルエンザ）



図Ⅱ-1-3 年齢階級別報告患者数（埼玉県：インフルエンザ）